

南陽の丘

※「南陽の丘」は校歌より命名しています

7月 July

ふ づ き
文 月

令和7年7月18日

長与町立長与南小学校

文責 校長 平村 美恵子

1学期ありがとうございました



今年は早い時期から暑い日が続いておりますが、学校は、本日で1学期を終了し、明日から子供たちが心待ちにしていた夏休みが始まります。子供たちが無事に1学期を終え、元気に夏休みを迎えられること、教育活動を温かく見守り支えてくださる保護者の皆様、地域の皆様方のおかげと、心より感謝申し上げます。

1学期をふり返りますと、子供たちはそれぞれに大きな成長をみせました。1年生の子供たちは、小学校生活にすっかり慣れ、学習や運動に元気いっぱいに取り組んでいました。ひらがなの読み書きも上手になっています。朝からさわやかなあいさつができる子が多い2年生は、先日水位を落として大プールにも挑戦しました。3年生は、新しく始まった社会科の学習で校区を歩いて自分たちの住む地域への理解を深めました。4年生は、クリーンパークへの見学後自分たちの出すゴミについて見つめ直す感想をもつなど自分事として考える力が伸びました。5年生は、6月に実施した平和学習で、案内をしてくださった平和案内人のみなさんから、あいさつや学ぶ態度のよさを大いに褒めていただきました。6年生は、学校生活をよりよくするために委員会活動や下級生のサポートを頑張り、最高学年としての自覚を高めています。そしてなんといっても運動会での全校児童の頑張りに感動しました。



また、本日の終業式で話したことですが「25,200→29,623」この数字は、図書室の6月までの貸出冊数の昨年からの伸びです。1人あたりにすると7冊ほど増えたことになります。南小みんなで取り組んだ成果といえます。読書は、語彙力を増やすだけでなく、豊かな心を育むことにつながると考えますので、ぜひ、夏休みに読書にも積極的に取り組んでももらいたいと思います。今年の夏休みは37日間です。学校を離れ、家庭や地域で過ごすこの期間、生活や学習について自分のめあてをもって夏休みを有意義に過ごしてほしいと考えています。身近な暮らしの中で、夏休みならではの経験や体験をしてほしいと思います。



しかしながら、心配なこともあります。熱中症、交通事故や水難事故、SNSトラブル等、夏休みの子供たちを取り巻く環境は安全・安心とは言い難い部分があります。子供たちには「自分の命は自分で守る」ことの大切さを指導しておりますが、ご家庭でも重ねてご指導くださいますようお願い申し上げます。

8月9日の登校日、8月25日の2学期の始業式に、元気いっぱいの子供たちと再会できることを心から願うとともに、楽しみにしています。

8月の行事予定

日	曜	行 事 内 容
4	月	9日の振替日（学校は閉じています）
9	土	全校登校日（平和集会等）
10	日	学校閉庁日（～18日）
25	月	2学期始業式
<学校閉庁日について> 8月10日（日）～18日（月）の期間は、学校閉庁日としております。併せて祝日及び週休日（土曜日・日曜日）は、学校は閉じておりますのでご注意ください。 なお、学校閉庁期間中、重大な事件・事故等が発生した場合は、まず、警察・消防等へ連絡・通報してください。また、学校への重大な連絡は、長与町役場（長与町教育委員会）【TEL 883-1111】へお願いします。校長及び関係職員へ連絡が入るようになっています。		

「何かおかしいな」「いつもと違う」と感じたらご相談を！

夏休みが始まったところですが、不安や心配なことがあるかも知れません。そんな時にはぜひ学校にご相談いただければと思います。

長与南小学校 TEL 095-883-2959

学校のほかにも下記のような相談窓口がありますのでご紹介いたします。

学校外の相談窓口

- ☐ 長与子どもホットライン（長与町学校教育課）095-883-5161
- ☐ 親子ホットライン（長崎県教育センター 24時間）0120-0-78310
- ☐ いじめ相談ホットライン（長崎県教育委員会）0570-078310
- ☐ ヤングテレホン（長崎県警少年少女センター）0120-78-6714
- ☐ チャイルドライン（NPO法人）：児童生徒専用 0120-99-7777
- ☐ 「子ども人権100番」0120-007110

夏休み中のお願い

～夏休みの課題の見守りについて～

長い夏休みに入るにあたり、1学期の学びの定着をより確かなものにするために、学年ごとに夏休みの課題を与えています。計画的・継続的に取り組むよう指導しておりますので、見守りや励ましをお願いします。また、学習プリント等では、発達段階に応じて自己採点が可能な学年もありますが、保護者の皆様に採点をお願いする学年もございます。全問正解に越したことはありませんが、誤答にこそ多くの学びがあります。誤答に気づき、その都度やり直して正解することで習熟が図られます。お忙しい中、誠に恐縮ですが、ご理解とご協力をお願いします。



タブレットでの宿題についても、各ご家庭で進捗状況を見ていただくことができますので、正しいタブレットの使用ができているかも併せて確認していただきたいと思います。